

東京-ロンドン グリーンファイナンス セミナー2022

近年、環境問題の解決につながる投資への資金提供として、
大きな期待が寄せられている「グリーンファイナンス」をテーマに、
東京・ロンドン両都市の最新動向や取組などを紹介します。

参加費無料

事前申込制

開催日時

令和4年10月25日(火)
18:30~20:00(日本時間)

開催方法

会場とオンライン配信のハイブリッド

会場

ホテルグランドアーク半蔵門 華の間
(東京都千代田区隼町1番1号)

オンライン配信

Zoomによるウェビナー

※日・英同時通訳あり ※後日アーカイブ配信あり

対象

国内外の金融関係者、関係省庁・団体、都民の方々等、どなたでもご参加いただけます。

お申し込み

下記ウェブサイトよりお申し込みください。

<https://www.greenfinancesemi.metro.tokyo.lg.jp/>


▼プログラム(予定)

(敬称略)

18:30	開会挨拶 基調講演	東京都知事 小池 百合子
18:37	基調講演	シティ・オブ・ロンドン ロード・メイヤー ヴィンセント・キーヴェニー
18:44	対談	「グリーンファイナンスにおける日英協力の方向性」 【英国側】英国金融行為規制機構(FCA) ESG 部門長 サシャ・サダン 【日本側】金融庁 チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー 池田 賢志 モデレーター EY Japan株式会社 APAC 金融サービス・サステナブルファイナンス・アクティベーションリーダー ヘザー・プロッサー
19:04	事例紹介 (企業等ピッチ)	・貴志 優紀(一般社団法人Fintech協会 常務理事)(日本) ・大塚 和慶(ナッジ株式会社 事業開発責任者)(日本) ・藤井 奈々(Doconomy AB 日本支社 カントリーマネージャー)(スウェーデン) ・ジャック・ワッサーマン(Greencoat Capital CFA)(英国) ・アレクサンダー・ロビンズ(J. Stern & Co. インベストメントスペシャリスト・クライアントアドバイザー)(英国)
19:27	パネル ディスカッション	「トランジション・ファイナンスの推進に向けて」 【英国側】FTSE Russell グローバルヘッド サステナブル・インベストメント・リサーチ ヤーコ・コウロシー 【日本側】株式会社東京証券取引所 取締役 専務執行役員 小沼 泰之 株式会社日本総合研究所 常務理事 足達 英一郎 株式会社三井住友銀行 サステナビリティ企画部長 高梨 雅之 モデレーター 株式会社野村総合研究所 金融デジタルビジネスリサーチ部 シニアリサーチャー 石川 純子
19:57	閉会挨拶 (ビデオメッセージ)	駐日英国大使 ジュリア・ロングボトム

※公務の都合や諸事情により講演順、登壇者、講演時間、閉会時間などが変更または講演自体が中止になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

主催



TOKYO
METROPOLITAN
GOVERNMENT



British Embassy
Tokyo



CITY
LONDON

後援



Financial Services Agency

協力

Green Finance
Network Japan

お問い合わせ

グリーンファイナンスセミナー2022事務局

●E-mail
greenfinancesemi@jijipress.online

開会挨拶・基調講演

小池 百合子

東京都知事

1976年10月 カイロ大学文学部社会科学卒業
1992年 7月 参議院議員
1993年 7月 衆議院議員
2003年 9月 環境大臣
2004年 9月 内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策)兼任
2006年 9月 内閣総理大臣補佐官(国家安全保障問題担当)
2007年 7月 防衛大臣
2010年 9月 自民党総務会長
2011年10月 予算委員会理事
2016年 7月 東京都知事 当選
2020年 7月 東京都知事 当選(2期目)



基調講演

ヴィンセント・キーヴェニー

シティオブ・ロンドン ロード・メイヤー

シティオブ・ロンドンのロード・メイヤーであるヴィンセント・キーヴェニーは、シティオブ・ロンドン及び英国金融業界のスポークスマンを担っている。英国との経済関係を強化し、新たなビジネスチャンスを見出し、そして英国が海外からの投資先として世界のトップに立つことを推進している。同氏は、2021年11月、第693代ロード・メイヤーに就任。国際ビジネス法律事務所であるDLA Piperのパートナーでもある。英国における債券市場やストラクチャードファイナンス、証券化取引、そして国際的には、銀行業務や金融、資本市場取引に関して助言している。2019年5月までは、DLA Piperの金融サービス部門において国際共同議長を務めた。また、英国財務省とビジネス・エネルギー産業戦略省(BEIS)の社会経済多様性特別委員会の共同議長も務める。ユニバーシティカレッジ・ダブリンの法学部を卒業、ダブリンのトリニティ・カレッジにて修士号を取得。



対談 「グリーンファイナンスにおける日英協力の方向性」

スピーカー

英国側

サシャ・サダン

英国金融行為規制機構(FCA)
ESG部門長



FCA(金融行為規制機構)に新設のESG担当ディレクターとして、英国の金融規制当局が幅広い規制活動の中でESGを導入することを促進し、CEOに報告する役割を担っている。前職は、世界最大の資産運用会社であるGLIMのインベストメントスチュワードシップディレクター(10年間)と取締役を務め、環境、社会、ガバナンス(ESG)分野を含むインベストメントスチュワードシップを担当し、他の投資家や政府、規制当局と連携を図った。フィナンシャルタイムズ紙は、「ロンドンのシティで最も影響力のある30人」の一人に選出している。それ以前は、Gartmore社の英国株式マネージャーとして、英国株式のヘッジファンド、リテールファンド、機関投資家向けファンドの共同運用を担当した。トムソンロイター・エクステル・アワードでは、パンヨーロッパで最も評価の高いファンドマネージャーに選ばれている。USS (Universities Superannuation Scheme)年金基金でキャリアをスタートさせた。ICSAのフェローであり、UKインベスターフォーラムの創設メンバーであり、6年間にわたり同フォーラムの役員を務めた。

スピーカー

日本側

池田 賢志

金融庁
チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー



2019年3月、サステナブルファイナンスの推進に関する事項についての企画及び立案に参画し、関係事務に必要となる調整を行うため、金融庁に「チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー(CSFIO)」のポストが新設されたことに伴い、初代CSFIOに就任。同職においては、民間金融における持続可能な開発目標(SDGs)との整合性向上や、事業者及び金融機関によるTCFD開示の推進などの課題に取り組むほか、IPSFTランジションファイナンスワークストリームの共同議長、「インパクト投資に関する勉強会」の副議長を務めるなど、サステナブルファイナンスに関する職務を幅広く所掌。

モデレーター

ヘザー・プロッサー

EY Japan株式会社 APAC 金融サービス・サステナブルファイナンス・アクティベーションリーダー



EY Japan株式会社APAC FSO サステナブル・ファイナンス・アクティベーション・リーダー。リスクマネジメント、投資銀行部門、資本市場部門にわたって活躍し、資産管理部門にサステナブル・ソリューションをもたらし役割も担っている。最高のEYサービスをクライアントに提供するため、グローバルEYチームのエンパワーを行う。2015年、EY Japanにて気候変動・サステナビリティサービス(CCaSS)の創設に貢献し、統括管理やサービスの発展、マーケットへの影響の働きかけに携わる。機関投資家が企業に対して、非財務リスクに関する情報開示と報告の改善をどのように求めているかに注目した。ビジネスとステークホルダーの利益をよりよく融合させるための持続可能なトピックにIRでの自らの経験を取り入れ、企業向けの実用的な解決方法を作成。CCaSSでは、日本の企業がESGリスクを理解・軽減するために役立つビジネスサービスの立ち上げを行った。

事例紹介(企業等ピッチ)

1 日本

貴志 優紀

一般社団法人
Fintech協会
常務理事



2008年ドレズナークラインアウト証券、ドイツ証券へ転職を経て、2018年にPlug and Play Japanへ入社。Fintech及びBrand&Retail部門を管理。非財務データ可視化事業を行うFintechスタートアップのサステナブル・ラボ株式会社に、2022年よりCFOとして参画。ロンドン大学クイーンメアリー校経済学部卒、ケンブリッジ大学MBA。2019年より一般社団法人Fintech協会理事。

2 日本

大塚 和慶

ナッジ株式会社
事業開発責任者



ナッジ株式会社 事業開発責任者。キャッシュレスで東広島島のマツ林の再生を促進するグリーンフィンテック・プロジェクト「広島Nudgeの森」の他、クレジットカード「外資系ブランドディングコンサルファーム勤務を経て、アリババグループの金融部門「アントフィナンシャル」にて、世界最大規模のキャッシュレス決済プラットフォーム「アリペイ」の日本市場開拓に従事。2022年3月より現職。

3 スウェーデン

藤井 奈々

Doconomy AB
日本支社
カントリーマネージャー



十数年間、最大手広告代理店にて日本企業の海外市場におけるマーケティング・コミュニケーション戦略立案と実施を担当。その後、外資系ブランドディングコンサルファーム勤務を経て、アリババグループの金融部門「アントフィナンシャル」にて、世界最大規模のキャッシュレス決済プラットフォーム「アリペイ」の日本市場開拓に従事。2022年3月より現職。

4 英国

ジャック・ワッサーマン

Greencoat Capital
CFA



BlueOrchard Finance Ltd社におけるプライベートマーケット影響管理マネージャーを経て、Greencoat Capitalのプライベートマーケットチームに所属。米国証券アナリストの資格を持つ。

5 英国

アレクサンダー・ロビンズ

J. Stern & Co.
インベストメントスペシャリスト・クライアントアドバイザー



ロンドンを拠点とする投資スペシャリスト。特に、アクティブ株式やサステナブル投資を中心とした投資目標を持つクライアントの、目標達成のためのサポートを行う。JPMorgan証券株式会社で、15年間ポートフォリオマネージャーを務めたのち、現職。

パネルディスカッション 「ランジション・ファイナンスの推進に向けて」

パネリスト

英国側

ヤーコ・コウロシー

FTSE Russell グローバルヘッド
サステナブル・インベストメント・リサーチャー



現在は、ベンチマークやインデックス商品などで使用される、気候・持続可能性関連データやスコアを開発する研究者ならびにデータ科学者のチームを監督している。前職はゴールドマン・サックス(GS)のエクゼクティブ・ディレクターとして「GSサステイン」の欧州研究を率い、低炭素への転換やその他の長期的な動向への投資の機会に見解を提供した。また、王立国際問題研究所(チャタムハウス)にてエネルギー、環境および資源分野における特別研究員、さらにハーグ戦略研究センター(HCSS)にてアナリストを務めた。アムステルダム大学にて国際関係の修士号を取得し、マーストリヒト大学にて国際経済学の理学士号、社会科学と歴史の文学士号を取得している。

パネリスト

日本側

小沼 泰之

株式会社東京証券取引所
取締役 専務執行役員



1984年、東京証券取引所入所。上場部、株式部、国際業務部を経て、2020年4月より現職。ETFをはじめとするアセットバック商品に関する上場制度の整備と商品開発支援、国内外の企業の新規上場、上場企業の企業価値向上に向けたプロモーションを担当。金融庁「サステナブルファイナンス有識者会議」委員。1985-87年、東京銀行(現:三菱UFJ銀行)に出入。慶応大学経済学部卒、米国カリフォルニア大学バークレー校MBA取得。

パネリスト

日本側

足達 英一郎

株式会社日本総合研究所
常務理事



1986年一橋大学経済学部卒業。1990年に同社入社。1999年から同社で、環境問題をはじめとするサステナビリティの諸課題を切り口にした産業調査、企業評価の業務に従事し、2006年からはESGリサーチセンター長なども務めた。2002年からは経済同友会「『市場の進化と21世紀の企業』研究会」ワーキンググループメンバーとして、第15回企業白書の編集に携わる。このほか、金融庁サステナブルファイナンス有識者会議メンバー、三井住友フィナンシャルグループ取締役会サステナビリティ委員会委員など役職多数。「SDGsの先へ ステークホルダー資本主義」(2021年、集英社インターナショナル)など著書・共著多数。

パネリスト

日本側

高梨 雅之

株式会社三井住友銀行
サステナビリティ企画部長



早稲田大学卒業後住友銀行入行。外務省・PEファンド出向や三井住友フィナンシャルグループPIR室長、三井住友銀行欧州営業第五共同部長 兼 グローバル金融法人部(ロンドン)部長などを経て、2022年4月より現職。2003年5月ニューヨーク大学MBA。

モデレーター

石川 純子

株式会社野村総合研究所
金融デジタルビジネスリサーチ部
シニアリサーチャー



日本銀行で米英や新興国の金融経済やマクロ政策に関する調査に携わった後、米国コロロンビア大学大学院で公共政策学の修士を取得。NRIに入社後はこうした経験と知見を活かして、金融環境が激変する下での中央銀行や監督当局による政策対応を考える「金融市場(ナベル)」「通貨と銀行の将来を考える研究会」の企画・運営に順次携わり、専門的知見を有する英国・欧州に重点を置き、マクロ政策運営についての意見を発信している。近年は、サステナブル金融における政策や規制面での課題や対応に関する調査にも注力しており、金融機関によるシナリオ分析や、カーボンライジングに関する調査を基に、サステナブル金融促進に向けた制度の整備に関する提言を行う。

開会挨拶

ジュリア・ロングボトム

駐日英国大使



2021年3月〜 現職
2020年 英国外務省
コロナウイルス対策本部長
2016年〜2020年 英国外務省 領事局長
2012年〜2016年 駐日英国大使館 公使
2009年〜2012年 英国外務省
極東部(後に中国)部長
2006年〜2009年 英国貿易投資省
戦略・人事部長
2003年〜2006年 駐ポーランド英国大使館
貿易投資部長兼総領事
1998年〜2002年 駐オランダ英国大使館
政治・EU担当一等書記官
1994年〜1997年 英国外務省
香港部国籍・移民課長
1990年〜1993年 駐日英国大使館
二等書記官(政治担当)
1988年 欧州委員会本部
コーフィールド卿事務所研修生
1987年 英国国連代表部
二等書記官(UNGAチーム)
1986年 英国外務省入省

配偶者:リチャード シンヴァ
子供:娘2人、息子1人